

6-5

既存の施設におけるユニットケアの実施

入苑者間のコミュニケーションにおける職員の役割とは

ユニットケア

個々のケア

特別養護老人ホーム 第二光陽苑

介護士 千羽 奈津子

東京都練馬区関町北 5-7-22

TEL:03-5991-9917

E-mail:dai2kouyoue@mx5.ttcn.ne.jp

FAX:03-5991-9918

URL:http://www.timelyhit.ne

今回の発表の施設
またはサービスの
概要

社会福祉法人泉陽会が母体である。第二光陽苑は平成11年4月に80床の特養・ショートステイ30床、その他、通所介護、訪問介護、在宅支援センターと福祉、医療、保健の総機関を目指し開設。利用者の方々の豊かな生き方を尊重している

〈取り組んだ課題〉

- 入苑者・職員間のコミュニケーション作り
- 豊かな生活の提供
- 入苑者一人一人の生活パターンの把握
- 職員のユニットケアに対する知識と理解の浸透

〈具体的な取り組み〉

- ゆとりのあるお茶・おやつ時間の提供
- 個々のニーズに合ったレクリエーション活動
（体操・茶話会・おやつ作りなど）
- ハード面の検討
 - ・ 交流の持てる座席配置
 - ・ 家庭的で過ごしやすい環境整備
- 個々にあったケア
 - ・ 希望に沿った満足度の高い個別対応
 - ・ 入苑者個人に合わせた排泄パターンの把握と介助の実施
 - ・ 就寝時間の差異による個別化
- 入苑者への生活嗜好調査アンケートの実施
- ユニット内ミーティングの効果的利用
- 入苑者のみではなく家族を含めた行事の実施
- 入苑者を把握する為に、ご家族とのコミュニケーションを図り、情報を収集する。
- ショートステイ利用者への対応
 - ・ レクリエーション活動への参加の声掛け
 - ・ 日常生活での溶け込みやすい環境づくり
- アルバムを作成し、入苑者間のコミュニケーションツールとして使用する
- 馴染みのある地域の昔の写真を載せたポスターを作り話題を提供する。

〈活動の成果と評価〉

- 気の合う入苑者同士が話し合うことによって、今まで不穏傾向が強かった方が、落ち着いてすごせるようになった。
- 談話できるスペースが出来たことにより、日中居室にこもりがちな入苑者が一人で過ごすことが減少した。
- アンケート調査の結果に基づいた個々にあったケアを実践し、時間に流されずその人に合わせた生活リズムで、過ごしていただくことが出来るようになった。
- 月1回の入苑者のニーズに合ったレクリエーションを行うことで利用者の表情が豊かになり、入苑者同士の『輪』が広がり、職員との交流も密になった。
- アンケート調査を実施したことにより、その方にあった余暇を職員に周知し、実践することが出来た。

〈今後の課題〉

- 目的意識をユニット内に浸透させる。
- 多種多様なレクリエーションが提供できる職員の育成。
- 日常生活での入苑者の表情や反応を的確に捉えることで、職員が入苑者間のパイプ役を担えるようにする。